

2014. 3. 7



# NPOフォーラム・だより No.58

NPO法人安房文化遺産フォーラム  
代表 愛沢 伸雄

〒294-0036 千葉県館山市館山 95 小高記念館 TEL&FAX:0470-22-8271

Eメール awabunka@awa.or.jp 公式サイト <http://bunka-isan.awa.jp/> ★各事業の詳細はHPをご覧ください。

会員・寄付募集中! ⇒ 郵便口座 00260-1-97307 名義:NPO法人安房文化遺産フォーラム

## 館山市長から感謝状授与

通常、当NPOでは団体を対象とした有償のスタディツアーガイドを請け負っていますが、毎月第1日曜午前には、個人や小グループを対象に赤山ガイドサービスを提供しています。

赤山地下壕が一般公開されて10年を期し、無償ガイドサービスの功勞に対して、館山市から感謝状をいただくことになりました。

4月6日(日) 9時から赤山地下壕で授与されますので、ぜひ会員はご参加ください。

## ■ 福原有信・没後90年記念墓参

…主催:中央区小塚大師研究会

◎ 3月30日(日) 10:30~12:00 小塚大師

館山出身の福原有信は、医薬分業を提唱し、日本初の西洋調剤薬局・資生堂を創業しました。没後90年の命日に、銀座周辺の東京都中央区で福原を顕彰する人びとが来房し、福原家の菩提寺である小塚大師で墓所参拝と講話聴講があります。東京からバスツアー(参加費1万円)に参加希望者はお申し出ください。

## ■ ウガンダ支援バザーの準備~物品の仕分け作業

◎ 4月6日(日) 13:30~16:00 那古・片方宅

安房南高校の平和学習から始まったウガンダ支援バザーは、今年20周年を迎えます。安房南高校と安房高校の統合を経て、現在支援活動にたずさわっている私立安房西高校JRC部(青少年赤十字)では、6月28日の文化祭でウガンダ支援バザーをおこなう予定です。その事前準備として、バザー用品の仕分け作業をおこないます。ご都合のつく方はお手伝いをお願いします。

## ◆ ツアーガイド&講演のスケジュール

… ガイド学習を兼ねて、スタッフ募集中!

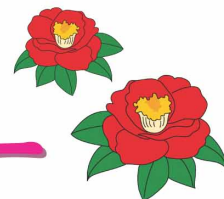
- 3月8~10日(土日月) 東京学芸大学史学部近現代専攻 12名 = 大巖院・布良・戦跡(赤山・かいた村)
- 3月16日(日) 11:00~16:00 町田市「慰安婦」問題を考える会 25名 = 座学・赤山・かいた村
- 3月17・18日(月火) 調布年金者組合 40名 = 座学(夕日H)・赤山・大巖院・布良(泊:安房自然村)
- 3月25日(火) 9:50~15:30 木更津市立八幡台公民館親子教室 50名 = 200万年前の地すべり海底地層・赤山
- 3月30日(日) 9:00~12:30 東京都中央区小塚大師研究会 30名 = 松岡八幡神社・小塚大師
- 4月2・3日(水木) 住吉高校 OB・今林氏 8名 = 座学・赤山・洲崎灯台・布良
- 4月 6日(日) 9:30~12:00 赤山ガイドサービス
- 4月16日(水) PM 花の谷クリニック 5名 = 赤山・かいた村
- 4月18日(金) 12:00~16:00 日本共産党市川後援会 45名 = 座学・赤山
- 4月29日(火) 15:30~16:30 昭和女子大学付属高校 226名 = 座学(館山寮)
- 4月30日(水) 9:30~12:00 // // = 赤山
- 5月 4日(日) 9:30~12:00 赤山ガイドサービス

## ◇ 2014年のスケジュール

- 6月22日(日) 13:30~ NPO安房文化遺産フォーラム総会(A会員) / 館山地区公民館
- 6月28日(土) 安房西高校文化祭 / JRC部ウガンダ支援バザー
- 7月21日(月)~8月3日(日) 同心展 / 南総文化ホールギャラリー
- 7月27日(日) 青木繁《海の幸》フォーラム / 南総文化ホール小ホール
- 8月1日(金)~3日(日) 歴史教育者協議会東京大会
- 8月4日(月) 5日(火) // // 現地見学会 = 館山まるごと博物館
- 8月5日(火)~31日(日) 青木繁「海の幸」オマージュ展 / 渚の博物館たてやま・館山市コミュニティセンター
- 8月22日(金)~31日(日) 第10回安房・平和のための美術展 / とみうら枇杷倶楽部ギャラリー
- 8月23日(土) 24日(日) 第18回戦争遺跡保存全国シンポジウム川崎大会



# 椿の里 小原家庭園 ガーデンパーティー



おかげさまで、当NPOは創立10周年を迎えることができました。今回も前回に引き続き、満開の桜（多分）の下で、開催することにしました。たくさんの模擬店を設けて、みんなで交流したいと思います。ふるってご参加下さい。お友達、お子さん、お孫さん大歓迎です。

●日時 **2014年4月13日(日) 12:00~** ※雨天中止  
※お手伝いの方は 10:00~

●会場 **椿の里 小原家庭園**  
(NPO会員の村上吉夫、信子さんのお宅)  
\*車の方はなるべく乗り合わせて  
少ない台数でご来場下さい。



●会費 500円

●連絡先 小 沢 : TEL 080-1379-3675  
関 : TEL 090-9342-3638  
NPO本部 : FAX 0470-22-8271  
e-mail awabunka@awa.or.jp

●メニュー おでん、やきそば、唐揚げ、天ぷら、おにぎり、ところてん、杏仁豆腐、野点など  
\*持ち込み自由ですので、ふるってご自慢のお料理を差し入れて下さっても構いません。

★会費は当日お支払い下さい。★前日や当日午前にお手伝いできる方は、申込書に○を付けて事務局へ FAX (0470-22-8271)、または小沢・関へ手渡して下さい。仕事内容は電話で相談します。★20周年記念のウガンダ支援バザーもあります。

## 参加申込書

氏名	TEL	お手伝い 4/12(土)13:30~	お手伝い 4/13(日)10:00~	パーティー 4/13(日)12:00~
男女				
男女				
男女				
男女				

# 郷土の偉人の功績語る

資生堂創業者  
福原有信 つどいで市民ら200人が聞き入る

館山市出身で資生堂創業者の福原有信の功績を顕彰する「ふるさと松岡の偉人・福原有信を語るつどい」が15日、南総文化ホールで開かれた。没後90年の記念行事として、地元の開市松岡区に発足した「福原有信を語り継ぐ会」が、NPO法人安房文化遺産フォーラムとの共催で開催。集まった市民ら約200人が、郷土が生んだ偉人の功績に耳を傾けた。



座談会では6人が福原の人となりを紹介した＝文化ホール

午後1時半から開会し、業資料館（静岡県掛川市）の佐藤朝美氏が「福原有信と資生堂」人ひとの幸福と健康のために」をテーマに記念講演。佐藤氏はこの中で、福原が里見氏の家系であることや、幼いころから漢方医の祖父から薬草について学び、医薬分業の先駆者として資生堂薬舗を起したと、帝国生命保険会社を設立経営したこと、長女が館山病院の初代院長川名博士に嫁いだことなどを語った。

第二部の座談会では、福原家分家の福原勇さん、語り継ぐ会世話人の早川萬専さん、早川政義さん、吉田茂徳さん、安房歴史文化研究会長の天野努さん、安房文化遺産フォーラム代表の愛沢氏

雄さんが登壇。「福原家の敷地には30年くらい前まで薬草が残って生えていた」「海上安全祈願の金毘羅山には福原家と布良の人物名が刻まれた鳥居がある」「布良の海難対策として帝国生命保険が有益であった」「後に千葉銀行となる安房銀行を設立した」「館山病院の震災復旧に尽力した」ことなど、ふるさとへの貢献も大きかったという報告があった。

また、福原とともに日本薬局方の制定に尽力した日本を代表する法制度者、細川潤次郎が同市国分寺の万石騒動三義民200回忌記念碑の撰文者であり、小塚大師にある福原家の墓と天神宮七人様の犠牲者2人の墓が隣り合っていることから、「これらの農民一揆で先人が連帯感と犠牲者への補償を重視していたことを福原が知っていた可能性が高く、起業の精神につながっていたのではなか」といって、これまで

房日新聞 2014.2.19

福原有信・没後90年記念事業

## ふるさと館山松岡の偉人 福原有信を語るつどい



平成26年  
2.15 (土)  
13:30~  
16:30

会場：千葉県南総文化ホール小ホール  
参加費無料

\*現地見学会 10:30~11:30  
福原有信のふるさと松岡を歩こう！

集合=10:20 安房特別支援学校前

# 高評価を得た館山の実践

## 地域まるごとと博物館シンポで

文化庁の地域活性化事業の一環として、「シンポジウム館山まるごと博物館」文化遺産を保存・活用するまちづくり」がこのほど、館山市内のホテルで開かれた。午前の世界的なツバキ研究者だった同市南条の小原家庭園見学会には約70人が参加、午後のシンポジウムにも関心のある市民ら約60人が参加した。

歴史文化遺産（ヘリテージ）の保存・活用を實踐する人材養成を目指し、「ヘリテージまちづくり講座」に取り組んできたNPO法人安房文化遺産フォーラム（愛沢伸雄代表）が、20年以上にわたる実践を踏まえ、講座の最終回として開催。多くの市民から賛同を得

てきた「館山まるごと博物館」の實踐について、エコミュージアムの研究者や市民とともに検証し、これからの可能性と課題を見つめる機会となった。



シンポジウムで基調講演する大原教授＝館山

長で横浜国立大学大学院の大原一興教授。この中で大原教授は「各地の取り組みの多くは、エコミュージアムの理念を十分に理解しているとはいえない。文化財の保存・活用を単に観光利用の目的で捉えるのではなく、地域の人の生活文化の歴史にどのように関わってきたのかを学習し、地域の有形無形すべての文化遺産を扱うことが求められている。市民が主体の地域まるごと博物館と連携することが大切」と語った。

後半のパネルディスカッションは、3人の登壇者がそれぞれの立場から館山まるごと博物館に対する思いを語り合った。県立中央博物館学芸員の林浩二さんは、「近年の国際博物館学会では、博物館の機能として地域の有形無形すべての文化遺産を扱うことが求められている。市民が主体の地域まるごと博物館と連携することが大切」と語った。

「館山まるごと博物館は、活動に関わる市民研究員の層が厚く、市域資源の点と点が線になり、さらに面へと広がっていくつながり方が、国際的にも通用するまちづくり事例である」と報告した。

館山市教育委員会生涯学習課文化財係長の杉江敬さんは、歴史資源等を生かした平和・学習拠点の在り方として、館山市では「地域まるごとオーブンエアーミュージアム館山歴史公園都市」を目標像と描いていることを紹介し、市民力と連携した活動実践を報告した。

最後に、主催者代表で千葉大教育学部で講師をしている愛沢さんは、「館山まるごと博物館は、今を生きると市民の誇りを育んでくれるだけでなく、持続可能な地域づくりのヒントも与えてくれている。他地域との連携による広域まるごと博物館の交流をさらに深め、豊かな教育と観光雇用を増やすことにも寄与していきたい。ぜひ、多くの市民に活動へ参加してほしい」と語った。

房日新聞 2014.3.4付

ヘリテージまちづくり講座

\*文化庁・文化遺産を活かした地域活性化事業\*

## シンポジウム 館山まるごと博物館

～文化遺産を保存・活用するまちづくり～

平成 26 年

2.16 (日)

13:30～

16:00

会場：たてやま夕日海岸ホテル  
館山市八幡 822 TEL0470-22-8111

参加費：無料

基調講演 大原 一興

(横浜国立大学大学院教授・日本エコミュージアム研究会会長)

「文化遺産を活かしたエコミュージアムのまちづくり」

パネルディスカッション

林 浩二 (千葉県立中央博物館学芸員)

チョン イルジ (神奈川大学助手)

杉江 敬 (館山市教育委員会生涯学習課文化財係長)

愛沢 伸雄 (NPO 法人安房文化遺産フォーラム代表・千葉大講師)

コーディネーター：池田 恵美子 (同事務局長)

